

令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

令和5年5月30日

学校法人 興國学園
興國高等学校

(1) コース概略とカリキュラム（教育課程）について 平成 25 年度～

①平成 25 年度

普通科アドバンスコースのスーパーアドバンスクラスを難関国公立大学並びに医歯薬系コースとして内部で独立させ、アドバンスコースは 2 クラスでの運営となりました。

②平成 26 年度

新入生募集人数の増員（410 名から 460 名）

③平成 27 年度

普通科スタンダードコースを進学スタンダードコースに名称変更し、指定校推薦を中心とした大学進学を考慮して、基礎学力を徹底して鍛えるカリキュラムを実行しました。これに伴い、各コースも生徒たちのよりよい学習環境づくりに邁進しました。

④平成 28 年度

新入生募集人数の増員（460 名から 505 名）

スーパーアドバンスクラスと IT ビジネス科で募集人数を増員しました。

⑤平成 29 年度

・新入生募集人数の変更 計 500 名

スーパーアドバンスクラス (SAD) 40 名 / アドバンスコース (AD) 40 名

アスリートアドバンスコース (AA) 120 名 / キャリアトライコース (CT) 40 名

進学アカデミアコース (AC) 140 名 / IT ビジネス科 (IT) 120 名

・新アリーナの完成とグラウンドの整備の完了により、本校の設備更新が一段落しました。

・進学アカデミアコース開設

従来の進学スタンダードコースを廃止し、『進学アカデミアコース』を新設致しました。その概要は、学習到達度や特別活動、進路の目標設定などで 3 タイプを選択でき、1 年次より自分にあった学習スタイルや課外活動に取り組めるようになっています。

⑥平成 30 年度

・新入生募集人数の変更 計 590 名

SAD 70 名 / AD 40 名 / AA 160 名 / CT 40 名 / AC 160 名 / IT 120 名 と、募集人数を大幅に増員致しました。

⑦令和 4 年度

・コース改編による各コース募集人数の変更と学則定員（2,280 名から 2,400 名）の変更

SAD 70 名 / PAD I ・ PAD II 80 名 / AA 140 名 / AC 140 名 / CT 40 名 / IT 120 名

・SAD と同様に、8 時間授業と豊富な補習等を展開し難関大学を目指す PAD I と、SAD の授業を 6 時間に凝縮し、クラブ活動にも参加できる PAD II を新設しました。

(2) 教育内容充実のための教育計画の推進

- ① コロナ禍において教育活動が制限される中でも、1 学期には授業見学、2 学期には研究授業を実施しました。全教員が自教科・他教科の授業を見学し、各教科会議において授業における問題点を考察し討議を重ねた上で、資料として報告書を作成・提出いたしました。さらに、1 学期末には「先生たちの通信簿」を実施し、生徒からの授業評価をうけて問題・改善点を各教員が把握し、報告書を提出することで2 学期以降の授業内容の改善に取り組みました。

また、放課後活動の充実のため、「KOKOKU 寺子屋」にて生徒のニーズに対応した様々な講座を展開しました。令和4年度は5つの道場、計26講座を開講しています。《がつつり学びや道場》では、大学進学に向けて、Benesseの進研模試の学力ゾーンに合わせた講座を充実させました。具体的には、「大学入試プレミアム講座」および、国語・数学・英語の学力向上のために1年生には「大学入試スタートUP&検定対策講座」、2・3年生には「大学入試ブラッシュUP講座&模試対策」を設けています。

さらに《グローバルコミュニケーション道場》には、ネイティブ教員によるアクティブラーニングによって英語力が身に付く講座「Mr.Danのイングリッシュ・カフェ」を開講しています。また、充実した設備のアリーナ、トレーニングジム、およびグラウンドをフルに活用し、《パーソナル・トレーニング道場》として、「KOKOKU流マッスル・ファクトリー」および、「エンジョイ・フットサル」を開講し、運動部に所属していない生徒にも放課後の体力づくりに取り組める環境を整えています。

また、地域の方々と交流を深めるため、例年通り、「KOKOKU 寺子屋～カルチャー教室～」(通称“ご近所寺子屋”)を「パソコン教室」「書道教室」、そして、Mr.ミランダの「英語でクッキング」の3講座を開く予定でしたが、感染症予防の観点から中止としました。

- ② 生徒の望ましい進路選択と、志望の実現を目指し次のような施策・対策を講じました。新2年生のクラス分けに伴い、年度当初の4月に「2年生保護者対象のオリエンテーション」を実施しました。全体会では、進路については近畿大学より屋木先生を招聘して、進路講話と研修旅行の概要を説明しました。引き続き、コース別ガイダンス、クラス懇談という流れで保護者の方々に今必要な心構えや今後の流れを説明し、理解を深めて頂きました。3学年対象に、自分の進路を発見する手立てとして「大学別ガイダンス」を主要10数大学で実施し、大学の入試部の関係者を招聘して、大学で学ぶことの基本的な知識と指導をして頂きました。2学年より就職希望生徒に向けて、面接試験や学科試験の対策講座である『キャリアガイダンス』を実施しています。この講座は、就職試験本番まで定期的に関講し、個別面談や対策授業・テストなどを実施して、就職内定100%達成となるように取り組んでいます。全コースとも年間を通じて、授業終了後の補習や「夏期・冬期・春期」休暇中に集中講座を実施しました。昨年度はコロナ禍で勉強合宿は実施できませんでしたが、本年度は各コースにおいて休暇中に勉強合宿を実施し、また校内での集中講座を実施し、大いに効果が上がりました。
- ③ スーパーアドバンスクラスの運営について、近年、理系科目を重視したカリキュラムにより、国公立大学や難関私立大学への合格者が大幅に増加し、その中でも京都大学や大阪大学、神戸大学といった難関校に複数の合格者を輩出できました。8時間授業をベースに、その後の補習、休暇中の特別授業など綿密で重厚なカリキュラムで成績の向上を図りました。また、国公立大学をはじめとする各種受験方式を徹底して研究し、生徒の希望進路を実現しました。

結果、京都大学に2名、大阪大学へ3名、神戸大学へ5名など、多数の国公立大学への合格すること

ができました。また、医学部医学科においては国公立大で和歌山県立医科大学、山梨大学に計2名が合格いたしました。

- ④ アスリートアドバンスコース（AAコース）の取り組みについて、今年度も広島県のしまなみ海道で「AAトライアスロン」を実施いたしました。またコロナ禍でストップしていたサッカー部のスペイン・フランスの研修旅行を再開。3年ぶりに京セラドーム大阪で行われた体育大会は全国ネットの「ジャンクスports」の～スポーツ名門校の体育祭に潜入SP～で特集されました。

卒業生の活躍も目まぐるしく、南野拓実はカタールで行われたサッカーワールドカップメンバーに選出。同級生の古橋亨梧は「情熱大陸」に出演。所属するスコットランド・プレミアリーグの得点王に輝き最優秀選手にも選ばれました。野球では平成30年度卒業の橋本聖哉が中央学院大学を経て育成ドラフト1位でヤクルトスワローズへ入団。同じく平成30年度卒業の蟬川大河はアマチュアで2勝をあげプロ入り、関西オープンで優勝するなど勢いが止まりません。

また、今年度も5名のJリーガーが誕生。（セレッソ大阪1名、水戸1名、横浜FC1名）アドバンスコースと連携した大学進学指導により、スポーツ推薦だけでなく、公募・一般入試でも国公立、上位私大に合格しました。AAコースは大変人気が高く、6クラス編成で理系、さらに文系を習熟度に分けて運営しています。また、アスリートプログラムに特化させた Groeien(グロイェン)クラスを設置し、アスリートの資質を高めています。

- ⑤ アカデミアコース（ACコース）では、基礎学力向上のため、朝の学習を英単語テストとして取り組み、自律学習と学習意欲の伸長を進めました。この取り組みは、全学年とコースで継続実施されており 進路決定への大きな力の一翼を担う取り組みとして発展させております。特筆すべき結果として、昨年度の滋賀大学、周南公立大学に続き、島根大学、職業能力開発大学校など国公立大学合格者を輩出いたしました。

当コースでは、刷新されたカリキュラムにより「リーダーシップ（責任感）」「フレンドシップ（協調性）」「パートナーシップ（社会性・モラル・マナー）」を学びの柱として、ICT教育の一環で導入された“Classi”を、家庭学習の実践や学校と家庭との通信（緊急時含む）などで活用しています。また、生徒全員がiPadを所持し、土曜日はテレストアディとしてオンラインでの特別活動を実施いたし多様な学びを展開しました。

- ⑥ キャリアトライ（公務員）コース（CTコース）の自衛隊体験入隊については、今年度もコロナ禍にあって実施が危ぶまれましたが、前年度に引き続き、大阪地方協力本部様及び海上自衛隊舞鶴教育隊様のご尽力により実施することができました。12月7日に海上自衛隊舞鶴基地を訪問し、2泊3日の行程で基本教練や海上自衛隊第一体操、結索・手旗訓練、カッター訓練など各種の体験をして参りました。また最終日には金曜日ということもあり海自カレーを皆で頂いたのち本土防衛の要である護衛艦あたごを見学させて頂きました。決して他では体験できないような経験を通して、公務員という仕事の重責を感じ取ることが出来た有意義な体験入隊でした。

- ⑦ IT ビジネス科（ITB科）での進路実績は、「ITアドバンスコース（ITAコース）」においては、上位大学への合格者を多数輩出するレベルとなっており、令和4年度卒業生は、沖縄の名桜大学をはじめとして、9割以上の生徒が4年制大学への進学を果たしています。これを継続発展させるため平日の通常授業を7時間授業とし、長期休暇中の講習では90分間の授業を展開することで、大学受験対策だけではなく、資格取得の対策も万全にしています。一方、「ゲーム&デジタルワークスコース

(ITG コース)」でも4年制大学への進学が増加し、ITアドバンスコース同様に補習等が実施されています。また、このコースでは「情報系学部」へのニーズが高まっており、その実現のため「ゲーム制作」に関する本格的なプログラミングなどを学ぶという目標の下、2年生の選択授業で大阪電気通信大学との高大連携授業を実施しています。ここでは本格的なプログラミングおよびアート制作を学んでおり、その成果に期待を寄せています。また、今年度は両コースともに夏期と冬期に勉強合宿を行い学力の向上を図りました

(3) 生徒指導の充実と、多様な対応

- ①「生活指導の手引き」における内規を抜本的に細部にわたって精査いたしました。
- ②携帯電話の校内使用全面禁止を継続し、マナーを遵守させる指導を徹底しました。
- ③遅刻した生徒には、放課後に学習課題を取り組ませ、遅刻を繰り返さないよう、早朝登校を実施しながら再発防止に向け指導を行いました。
- ④モラルやマナー育成の為、教職員と各クラスから選出した生徒と協力して、周辺地域の清掃活動「クリーン大作戦」を実施いたしました。
- ⑤インターンシップの取組みについて

3月には昨年同様アートコーポレーション様にご協力を賜り、有償インターンシップを実施することができました。その為、希望生徒対象にアートコーポレーション様より、プロとしての心構えと作業の基本的な指導を講義と実践により、事前にレクチャーしていただいております。これらの取組みにより、就職活動を本格化させる2学年の生徒達の就労意欲を高めることができました。

⑥人権カウンセリングより

不登校や集団生活に馴染みにくいなどの悩みを持つ生徒に対して、別室（カウンセリングルーム）にスクールコンシェルジュ（校長経験者）を複数名配置し、休暇中における集中指導などの対象生徒の個別指導だけではなく、保護者が相談できる組織を校内に設置しています。また、学校外においても、ものづくり体験や協働学習を通して、進級・卒業への契機となるプロジェクトを準備しています。

(4) 授業改善への取組み

- ①授業改善のため、全教科担当者に対する生徒からのアンケート（「先生たちの通信簿」）を1学期末に実施し、自己点検すると同時に、教科としての改善すべき取組みを明確にしました。
- ②授業の質を高めるために、習熟度別授業やチーム・ティーチング（複数担任授業）を充実させました。
（例）国語・数学・英語・簿記会計・体育の武道（柔道・剣道）・情報・書道 等
- ③2学期に研究授業を実施し、各教科における授業のあり方を追求したほか、1学期には公開授業週間を設け、教員のレポートを通して反省点や改善点を明確にしました（教科内・教科外の授業も見学・検討することとしました）。
- ④充実した授業を展開するために、全教員で授業中の校内巡回を分担し、年間を通して実施しました。
- ⑤各教科で現在のカリキュラムやシラバスを検討して問題点や改善点を抽出し、よりよい授業、分かりやすい授業が展開できるように取り組みました。

(5) 国際理解教育の推進

①夏期休暇期間中の短期海外研修について（7月実施）

コロナ禍の影響により、海外への留学・研修の計画は困難な状況が続いていましたが、今年度はアメリカ・オレゴン州のポートランド州立大学への夏期短期語学研修を実施いたしました。ポートランド州立大学と共同連携プログラムを組み、7月24日～8月8日までの16日間、大学寮に滞在しながら

- ら、アメリカ文化や自然に触れる多様なアクティビティを通して、異文化を体験しました。英語力に応じてベーシッククラス、アドバンスクラスの2つのクラスを用意し、ベーシッククラスでは「実践的英会話」「アメリカ文化」を学びました。アドバンスクラスではグループワークやディスカッションを中心に総合的に語学力アップを図りました。両コースともにコロンビア溪谷でのトレッキングなど、雄大な大自然を満喫する各種アクティビティも行いました。現地大学生もプログラムアシスタントとして本校生徒たちと行動を共にし、アメリカの大学生活を体験できるプログラムとなりました。
- ②授業・寺子屋等で、「weblio（ウェブリオ）オンライン英会話」を利用し、フィリピンの講師と英会話を行うことで、英語検定試験合格に向けた学習に取り組み、語学力とともに国際感覚の向上につとめました。
- ③今年度はドイツとスウェーデンから1人ずつ、計2名の交換留学生を受け入れました。約10ヵ月の間、本校の生徒宅に滞在するホームステイプログラムで、言語学習・異文化交流の機会となっています。また、留学生には日本語学習の機会を設け、日本語能力検定の取得を目指して学習をすすめています。
- ④ウクライナ情勢により発生した避難民を、ウクライナ学生支援会（JSUS）と連携し、2名受け入れました。それぞれキエフとリヴィウから単身やってきた2名は、日本の高校での生活を通じて、言語学習や異文化交流だけではなく、世界平和について考えるきっかけも与えてくれました。
- ⑤サッカー部では毎年スペインのバルセロナでサッカークリニックや交流試合ができるなど好評を得ておりますが、チームの一部はフランス・リヨン、マルセイユ、トゥールーズで試合観戦や交流試合を実施しました。
- ⑥海外から本校への留学についての問い合わせも多くなり、アフリカのケニアやトンガ、ニュージーランド、台湾、ハイチからの長期留学生を受け入れました。また彼らは、陸上競技やラグビー、硬式野球、硬式テニスなどのクラブ活動に参加し、日々の練習に励み、日本語の学習にも勤しみました。

（6）施設面の充実

- ①新西館改築工事（平成27年12月竣工済 翌年1月供用開始）
- ②北館（体育館）解体工事に着手・完了（平成28年3月より）
- ③クラブ棟（東側）解体工事（平成29年1～2月）
- ④新アリーナ（体育館）竣工（平成29年6月）
- ⑤南館1階改装工事に着手（平成29年12月）
- | | | |
|--|---|------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> *サイエンス・ラボ（理科実験室） *クッキングスタジオ（調理実習室） *特別教室 | } | 以上の3教室を新設いたしました。 |
|--|---|------------------|

☆新アリーナの完成とグラウンドの整備工事が完工し、各種行事を催行しました。

1. 平成29年6月 1日 グラウンド修祓式（本校グラウンド）
2. " 6月 7日 90周年記念式典・アリーナ竣工式（本校アリーナ）
3. " 6月22日 台湾東海大学講演会（陳 中漢教授）
4. " 6月24日 アリーナ落成記念「バレーボール落成記念試合」
(Vリーグ：堺プレイヤーズ VS パナソニックパンサーズ)
5. " 6月26日 「天遊」大阪市小学校連合会主催講演会（講演者：草島葉子校長）
6. " 7月15日 90周年記念講演会『得手に帆を揚げて』（講演者：数学者 秋山 仁氏）
7. " 8月 6日 高体連サッカー大阪大会“開会式”（参加251校 男女共約1500名）

- | | | | |
|-----|-------|--------|--|
| 8. | 〃 | 8月28日 | 中体連サッカー総会・抽選会（中学校顧問 約450名出席） |
| 9. | 〃 | 9月9日 | 大阪エヴェッサドリームクリニック |
| 10. | 〃 | 10月14日 | 柔道実技講習会（新柔道場柿落とし） |
| 11. | 〃 | 10月23日 | AA コーストップアスリート講話（ラグビー元日本代表 野澤武史氏） |
| 12. | 〃 | 10月28日 | 大阪南ロータリークラブ主催「福祉チャリティーコンサート」 |
| 13. | 〃 | 11月26日 | 天王寺バレーボール連盟主催「秋季大会」（9人制18チーム） |
| 14. | 〃 | 12月1日 | 天王寺区役所主催「区内3中学校合同サッカー講習会」
（セレッソ大阪コーチによる実技指導） |
| 15. | 〃 | 12月17日 | 天王寺区吹奏楽フェスタ（区内の中学校・高校の吹奏楽部が出演） |
| 16. | 平成30年 | 2月28日 | 進路ガイダンス（2年）〔講師：近畿大学入試広報課長 屋木清孝氏〕 |
| 17. | 令和元年 | 5月8日 | 「令和の集い」（改元に伴い、平成の時代を振り返り、令和の時代に向けての決意を新たにしました） |
| 18. | 〃 | 5月20日 | 「NASA 特別講演会実施」（講演者：ジョン・A・マクブライド氏、対象：第1学年全生徒（766人）・第2、3学年 SAD、AD、AAA、ITA（364人）・天王寺中学校生徒（約150人）） |
| 19. | 〃 | 11月15日 | 「第66回近畿算数・数学教育研究大阪大会（全大会）」 |
| 20. | 令和4年 | 5月14日 | 大阪南ロータリークラブ主催「福祉サッカーイベント」 |
| 20. | 令和4年 | 6月25日 | 「陸上自衛隊中部方面隊音楽会」 |

※その他、学校説明会、始業式・終業式並びに ONLY ONE 祈念日、卒業式等の式典で、アリーナを活用しております。

（7）入学生徒数の安定的確保への取組み

令和5年度の入試は定員（590名）を大きく上回る1247名（専願705名・併願542名）が志願し、786名の入学者を受け入れました。また、下記のような入試広報に関わる活動を実践しました。

- ① 全教員で大阪府下を中心に、約500校の中学校を年2回（夏・冬）訪問し、本校の独自の取組みと、入試における特徴的な要項の周知に努めました。
- ② 7月に中学校の教員対象の学校説明会を開催し、各コースの内容とその学びの特色やカリキュラムを中心に、より一層の理解を深める工夫を凝らしました。また、魅力あるクラブ活動を紹介するため、成果を生み出しているクラブ指導者と活躍するクラブ生を紹介し、生徒の募集のための方策を打ち出した。
- ③ 9月に学習塾対象の学校説明会を開催しました。併せて全教員で学習塾を訪問し、地域別にきめ細やかな訪問ができるよう取り組みました。
- ④ 中学生と保護者対象の学校説明会及び個別相談会、オープンスクールを計8回開催。
夏季休暇中の KOKOKU 夏祭、11月に KOKOKU 体験フェスティバルを実施し、本校の生徒たちとの関わりの中で、本校の魅力を伝えた。これに加えて保護者や中学生からの進路相談に応える場として、「個別面談会」を計3回実施しました。
- ⑤ 本校の教員とサポート生徒が中学校へ出向き、パソコン・公務員講座・スポーツ関連等の体験授業を行う「出前授業」や、学校長と渉外部長が「進路講話」「面接講座」を中学校の「総合的な学習」の時間等を利用し、進路保障の一環として繰り広げました。また中学生が来校して、高校生活

を半日実体験する高校体験留学も定着している。以上の活動により、本校の教育設備や内容の充実度が体験することによって、受験者数や入学生の確保に繋がっていると考えられる。

- ⑥ その他、渉外関連のアイテム（学校案内パンフレット・KOKOKUTIMES・学校紹介ビデオ等）の作成。より魅力的な広報活動を展開できるように努力している。

(8) クラブ活動・生徒会活動の活性化

① インターアクトクラブの設立と活動

インターアクトクラブとはロータリークラブより提唱された、12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕のための社会奉仕クラブです。学校や地域社会に奉仕をし、国際理解を推進するプロジェクトであり、国際感覚を持ったリーダーシップを身に着けるとい活動です。令和4年8月2日に大阪南ロータリークラブの皆様から提唱をいただき、興國高校インターアクトクラブが結成されました。

- ・令和4年8月23日 興國高校インターアクトクラブ結成認証式
興國高等学校インターアクトクラブの認定状伝達式が、メモリアルホールにて厳かに挙行され、大阪南ロータリークラブの皆様より結成の提唱をしていただきました。
- ・令和4年10月13日 インターアクトクラブ認定状伝達式
興國高等学校インターアクトクラブの認定状伝達式が、メモリアルホールにて厳かに挙行され、大阪南ロータリークラブの皆様より結成の提唱をしていただきました。
- ・令和4年10月25日 第3339回大阪南ロータリークラブ例会 卓話
スイスホテル南海大阪にて、約200名の大阪南ロータリークラブ会員の皆様に参加される例会にて本校のウクライナ留学生 オレクシー・パーコムチュク君とオレクシー・ブブリク君のふたりが卓話という形でスピーチを行いました。スピーチは「**The Story of me ~Learning becomes the wings of your freedom~**」と題し、戦争を目の当たりにしたときの心境や家族の様子など、一つ一つの言葉に思いを込めながらオレクシー君たちは語りました。中には、涙して卓話を聞いてくださる会員様もおられ、オレクシー君たちにとっても、かけがえのない体験になりました。

- ② 剣道部が創部初めてのインターハイ出場を果たし、全国ベスト16進出しました。ボクシング部は5度目の全国大会総合優勝を達成しました。また、全国大会に多くの運動クラブ（ゴルフ・ソフトボール・自転車競技・レスリング・卓球部・テニス部の各部）が出場権を獲得しました。多くのクラブも選手強化のために学校が全面的にバックアップをしており、今後も大いに活躍が期待される場所です。また海外からスポーツ留学生制度を設定し、選手獲得もグローバル化しております。現在、台湾（硬式野球）、ケニア（陸上）、フィジー・ニュージーランド（ラグビー）、からの留学生が日本語や文化を学びながらトップアスリートとして練習に励んでいます。

また、堺ブレイザーズとの連携も継続し、2020年度からはバレーボール部の顧問として、指導者を派遣いただいております。現在は1部リーグに属しており、春高バレー大阪府大会上位に進出するなど着実に実力をつけています。

(9) 進路保障の多様性とその充実

- ① 各コースの特徴を生かした進路保障を、各分野で昨年度の実績を上回る形で下記の通り果たしまし

た。

※特に大学進学では、和歌山県立医科大、山梨大などの国公立医学科や京都大学や大阪大学などの難関大学に複数合格者を輩出することが出来ました。

(%は、全卒業生数比率)

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
四年制大学	481名 (65.8%)	468名 (64.4%)	409名 (63.2%)
短期大学	3名 (0.4%)	10名 (1.4%)	5名 (0.8%)
専門学校	88名 (12%)	96名 (13.2%)	86名 (13.3%)
就職	95名 (12.9%)	90名 (12.4%)	91名 (14.1%)
浪人未定・その他	63名 (8.6%)	63名 (8.7%)	44名 (6.8%)

※浪人未定の63名の大半が、留学準備、志望大学への進学希望のため。

・【各分野における進路先の具体例】(令和4年度結果)

＊四年制大学

国公立大学 (京都大学・大阪大学・神戸大学・和歌山県立医科大学・防衛医科大学校・防衛大学校・名古屋大学・大阪教育大学・大阪公立大学・滋賀大学・和歌山大学・秋田大学・宮崎大学・広島大学・鳥取大学・北海道大学・島根大学・徳島大学・徳島大学・高知大学・滋賀県立大学・兵庫県立大学 他多数合格)

私立大学 (関西医科大学・兵庫医科大学・慶應義塾大学・早稲田大学・同志社大学・立命館大学・関西学院大学・関西大学・東京理科大学・上智大学・中央大学・法政大学・青山学院大学・近畿大学・龍谷大学・京都産業大学・甲南大学・日本大学・東洋大学・駒澤大学・専修大学・関西外国語大学・摂南大学・桃山学院大学・追手門学院大学・神戸学院大学・大阪経済大学・大阪工業大学・大阪商業大学 他多数合格)

＊短期大学 (関西外国語大学短期大学部・龍谷大学短期大学部・大阪成蹊短期大学 他)

＊専門学校 (大阪法律・大阪あべの辻調理師・国際東洋医療柔整学院・大原簿記法律・修成建設 他)

＊就職 (西日本旅客鉄道(株)・阪神電気鉄道(株)・アート引越センター(株)・きんでん(株)・トヨタ自動車(株)・(株)セコム 他)

＊公務員 [国家公務員]: 国家一般職・裁判所・航空保安大学校・刑務官
[地方公務員]: 大阪府警・豊中市事務職・十津川村事務職・東京消防庁・大阪市消防局

[特別職国家公務員]: 陸上自衛隊一般曹候補生・陸上自衛隊自衛官候補生
海上自衛隊一般曹候補生・海上自衛隊自衛官候補生

②本年度もAAコースから、プロサッカー選手 3名を輩出いたしました。

横浜FCで1名、セレッソ大阪で2名がプロ選手として活動します。今後のJリーグでの活躍を大いに期待しております。

(10) 学校評価について

毎年、全職員から提出された自己評価、並びに次年度の目標設定を記載したシートを基に管理職との個別面談を全員に実行しています。この面談を通じて、職務に対する姿勢や方向性を互いに認識し合い、資質向上と学校運営の発展に努めています。下記の表は、今年度提出された個々のシートを整

理・集約したものです。

<令和4年度 資質向上自己申告票のまとめ>

[単位：人]

No.	項目	評価S	評価A	評価B	評価C	評価D	その他	小計
①	校務分掌	2	14	43	24	8	1	92
②	担任業務	3	14	34	13	5	0	92
	副担任業務	0	3	7	5	1	7	
③	教科指導	1	25	42	16	3	4	92
④	クラブ活動	6	20	33	23	5	5	92
小計		12	76	160	81	22	17	368
評価分布状況	令和4年度	3.3%	20.7%	43.5%	22.0%	6.0%	4.6%	
	令和3年度	2.8%	19.9%	40.6%	25.0%	5.1%	6.5%	
	令和2年度	3.6%	18.6%	41%	27%	5.6%	4.2%	
	令和元年度	3.8%	16.6%	40.8%	29.6%	5.4%	3.8%	

《表の見方》

(イ) 項目の①～④は本校の業務分類です。

(ロ) 評価S～Dは、次のように5段階評価で分類します。

- ・評価S：大幅に目標を上回っている。
- ・評価A：少し目標を上回っている。
- ・評価B：目標通り。
- ・評価C：少し目標を下回っている。
- ・評価D：大幅に目標を下回っている。
- ・その他：該当の業務分担がない教員の人数。

(ハ) 調査対象者は、専任教諭 61名、常勤講師 31名 の計 92名です。

(二) 今後の改善点

①教職員の資質向上に向けて

- ・教科間ないし教科外の教員が互いに授業見学を取り入れ、授業の質の向上に役立っています。
- ・新しい取組みのための研鑽や資格取得等の講習へ積極的に参加しております。
- ・教育の実践に活かすために専門分野の方の講演会を定期的実施しています。
- ・この他、新任教員の研修にも努めています。

②生徒指導・学習指導・進路指導について

- ・通学路や交通機関利用時、並びに自転車通学を含めての登下校時のマナーを徹底します。
- ・クラブ活動や興國寺子屋など課外活動への参加率向上を目指します。
- ・高大連携では、相互に授業の連携を図り、大学進学時に単位認定を考慮する取組みを進めます。
- ・大学入試や社会の要請に応える力をさらに育成するため、漢検・英検受験の充実を図ります。
- ・全コースで学力向上を目指し、強合宿実施を進めていきます。

(11) その他

- ① キャリアトライ（幼児保育初等中等教育）コースでは例年、四天王寺夕陽丘保育園のご好意により行事日程に合わせて実習の機会を提供頂いていましたが、今年度もコロナの為、保育現場での実習は行えませんでした。
- ② 文化祭は、例年、保護者や近隣住民も大勢参加され、クラス展示や模擬店、アリーナでの催しなど

が実施されますが、今年度もコロナ対策として縮小を余儀なくされました。しかし、生徒会指導部を中心として工夫を凝らしたイベントが実施されました。

ゲストステージにおいて、1 学年は、吉本興業様よりオズワルドが来校していただける予定でしたが、コロナ感染の為、急遽、大道芸人のもりやすバンバンビガロさん、2016 年キングオブコント優勝のライスの 2 組へ演者を変更して実施した。2・3 学年は大人気シンガーの May J.さんにご出演頂いた。本年度は 3 学年合同企画として「KOKOKU ミスコン『奇跡の一枚』2022」を 3 年ぶりに復活させました。各学年代表 3 名を選出し、KOKOKU 寺子屋でもお世話になっている西日本ヘアメイクカレッジ様の協力を仰ぎメイクアップしていただくことで本格的なコンテストが可能になりました。それぞれ趣向を凝らし、大いに盛り上がりました。

チャリティ企画として、日本赤十字社からの協力要請を受けて、本校インターアクトクラブの全面的な協力のもと献血を実施しました。生徒・教職員合わせて 76 名の協力を得ることができました。コロナ禍において互いに支え合いながら生活するこの重要性を理解し、献血の協力を通じて生徒らに対してチャリティへの意識づけができていれば幸いだと考えています。

- ③ 恒例の「クラブ年初始動式」を生徒会指導部主催で 1 月に実施しました。クラブの活躍と発展を祈念して、全運動クラブ部員と P T A 役員、教職員が久保神社に参拝後、アリーナにて各クラブの代表者から力強い決意表明を發表しました。今年度は 3 年ぶりに餅つきを行ないました。新型コロナウイルス感染予防対策として、各運動部・文化部員代表 2 名に限定して餅つきをさせることにし、生徒が搗いた餅は、教職員と P T A の方のみで食べることにしました。生徒には、蔵ウェルフェアサービスから、今年は新たにお雑煮を配布することにしました。

- ④ 生徒の健康や安全教育の一環として、1 年生の 4 月以降、体育の授業において救急救命講習を開き、心肺蘇生法 (CPR) や AED の使用方法について、技術の習得を図るとともに、緊急時の対応ができる教育を実施しております。

また、アスリートアドバンスコースでは、2・3 年生全員に春と秋の 2 回救急救命講習を受講させて、命の尊さを体現させています。

- ⑤ 高大連携について

大阪商業大学、大阪電気通信大学との高大連携講座で単位を認めていただいております。

今後の進路指導として、国公立大学も含めた各大学との高大連携を進展させます。大阪商業大学をはじめ、大阪電気通信大学など、多数の大学と連携を図ることで、単位認定や医療系、理工系の大学とも交流を深めるとともに、大学からの出前講義やガイダンスを通じて、自分の進むべき進路を一人ひとりが考え、その目標を達成できる道筋をつけることを目標とします。そして、将来は様々な分野で牽引できる人材の育成に努めて参りたいと考えます。